



# 会社説明会

STOCK CODE:7177

2016年9月3日

# 会社概要

商号	: GMOクリックホールディングス株式会社
設立	: 2012年1月
代表者	: 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
連結子会社数	: 5社（国内2社・海外3社）
連結従業員数	: 234名（2016年6月末日現在）
グループ事業概要	: ネット証券事業、FX事業
証券コード	: 7177（東証JASDAQスタンダード）

**GMOクリックHD** (金融持株会社)  
ホールディングス

100%

100%

国内

海外（香港・ロンドン）

**GMOクリック証券**（ネット証券・FX事業）

**FXプライム by GMO**（FX事業）

**GMO-Z.com** Forex HK Ltd.（FX事業）

**GMO-Z.com** Bullion HK Ltd.（CFD事業）

**GMO-Z.com** Trade UK Ltd.（FX・CFD事業）

金融サービスをもっとリーズナブルに  
もっと楽しく自由に



## 安さと使いやすいサービスを武器に成長。海外でも事業を展開



**2005年10月**

GMOインターネット証券  
(現GMOクリック証券)設立

**2005**

**2006**

**2006年5月**  
オンライン証券取引サービス開始

**2006年10月**  
店頭FX取引サービス開始



香港  
進出

**2012年8月**

香港子会社でFXサービス  
提供開始

**2010**

**2010年4月**  
CFD取引サービス開始

**2012年1月**  
GMOクリックHD設立

**2012**

**FXプライム by GMO**



**2012年9月**

FXプライム (現FXプライム  
byGMO) を連結子会社化



ロンドン  
進出

**2015年3月**

英国子会社でFX・CFDサービス  
提供開始

**2015**

**2015年4月**  
GMOクリックHD上場  
(東証JASDAQ)

**2016**

**2016年2月**  
新FXシステム稼働開始

## 個人投資家を中心とする国内外のお客様に インターネット金融サービスを提供

### 取引所取引

### 店頭取引

概要

取引所を介して行われる取引

投資家と証券会社等との相対取引

主な商品

株

先物  
OP

365  
FX

店頭  
FX

外為  
OP

CFD

収益源

手数料・金利\*

スプレッド等

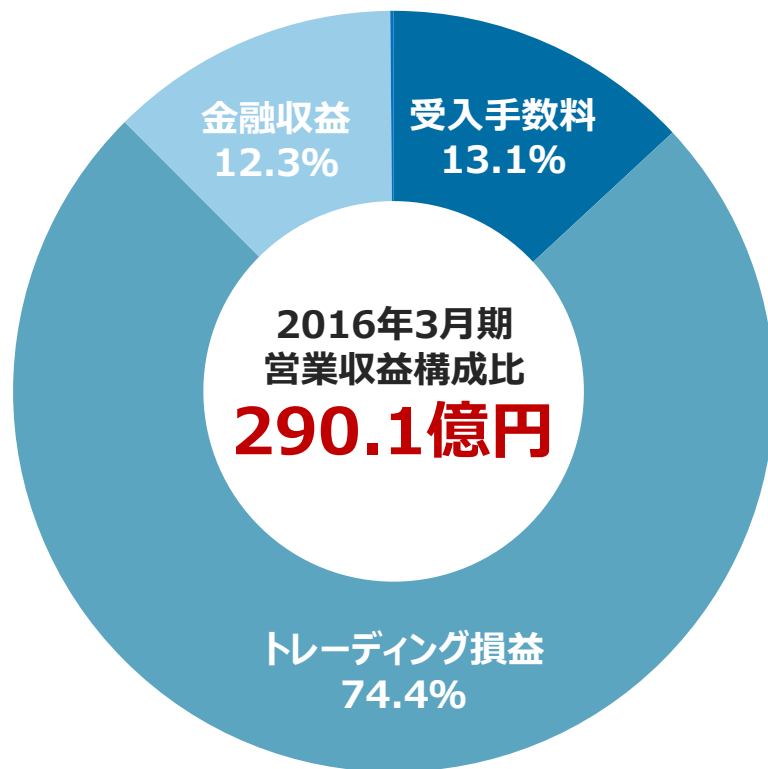
PL科目

受入手数料・  
金融収益

トレーディング損益

※株式信用取引に係る金利

FXが主力。FX等店頭デリバティブ取引が収益を牽引



## 受入手数料**37.9億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

## トレーディング損益**215.9億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

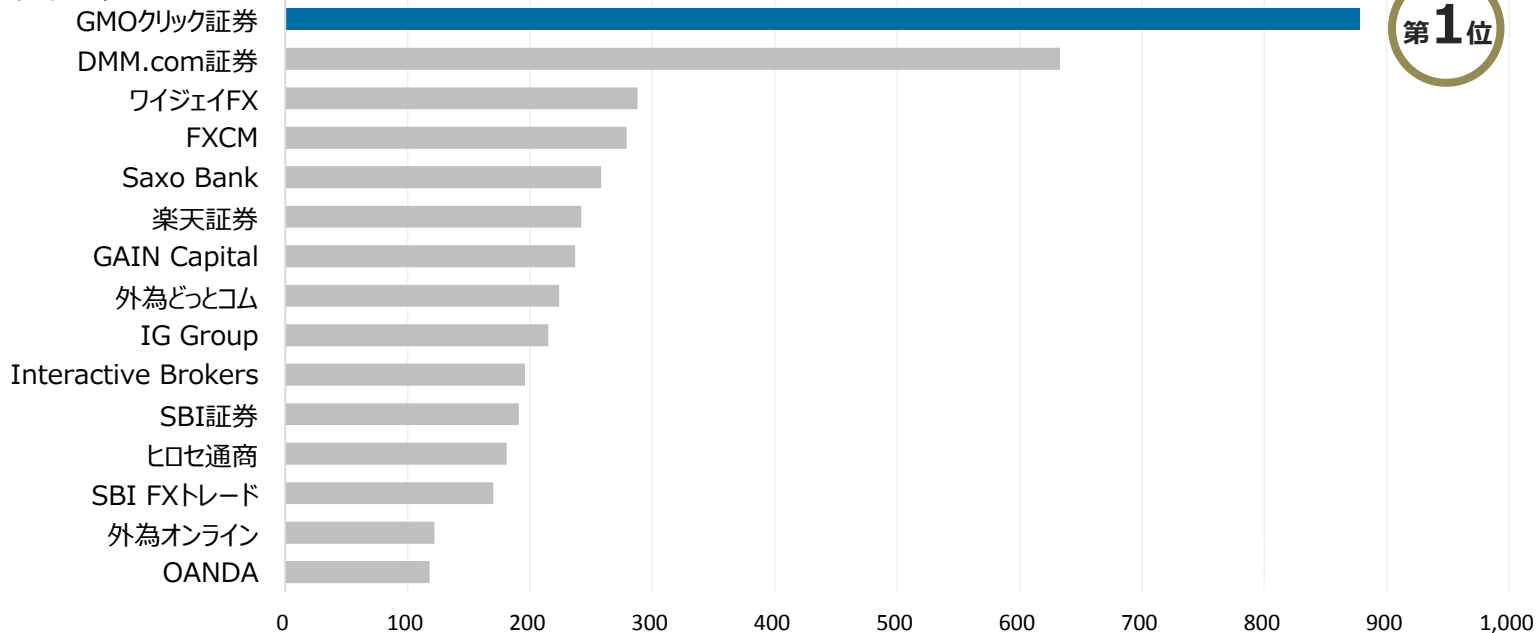
## 金融収益**35.8億円**

- 信用取引等から得られる収益

## 2012年以降、年間FX取引高4年連続で世界No.1※

### FX取引高世界トップ15 (Q2'16)

(10億ドル)



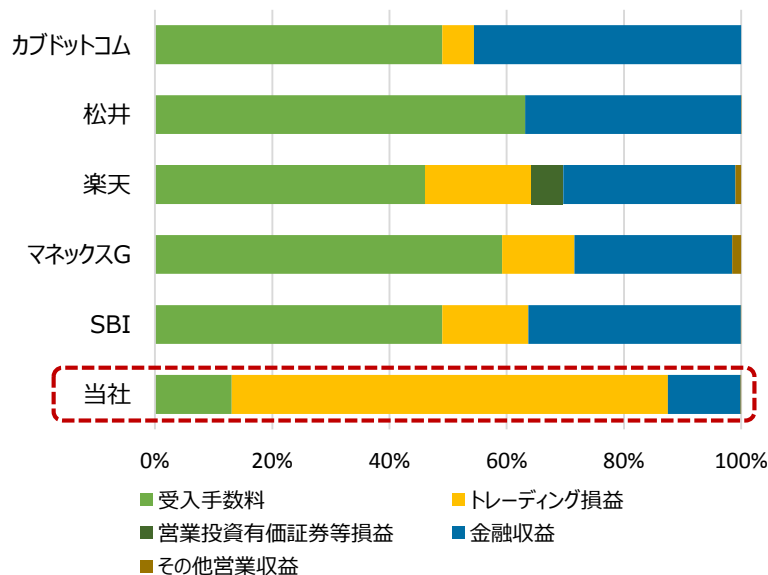
第1位

出所：Finance Magnates発行レポート(Q2 2016), 月次平均取引高  
※Finance Magnates調べ (GMOクリック証券の各年1月～12月の数値)

# 主要ネット証券比較

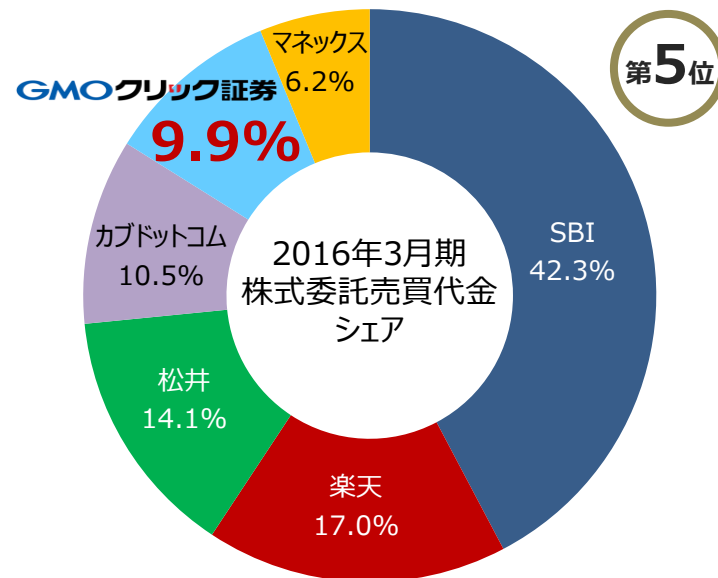
他社の収益構造と違い、FXが成長ドライバー  
株式も**大手ネット証券の一角**を占める規模。今後はさらに伸ばす

## 営業収益構成比



出所：各社公表資料  
※松井証券、カブドットコム証券は2016年3月期の非連結決算、それ以外の会社は連結決算の数値

## 株式委託売買代金



出所：各社公表資料。シェアは、6社を全体とした場合の各社シェア



高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

- システム内製化により、システム開発コストを低減。価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応

安さ

業界最安値水準の  
手数料・スプレッド



使いやすさ

簡単操作・高機能  
取引ツール

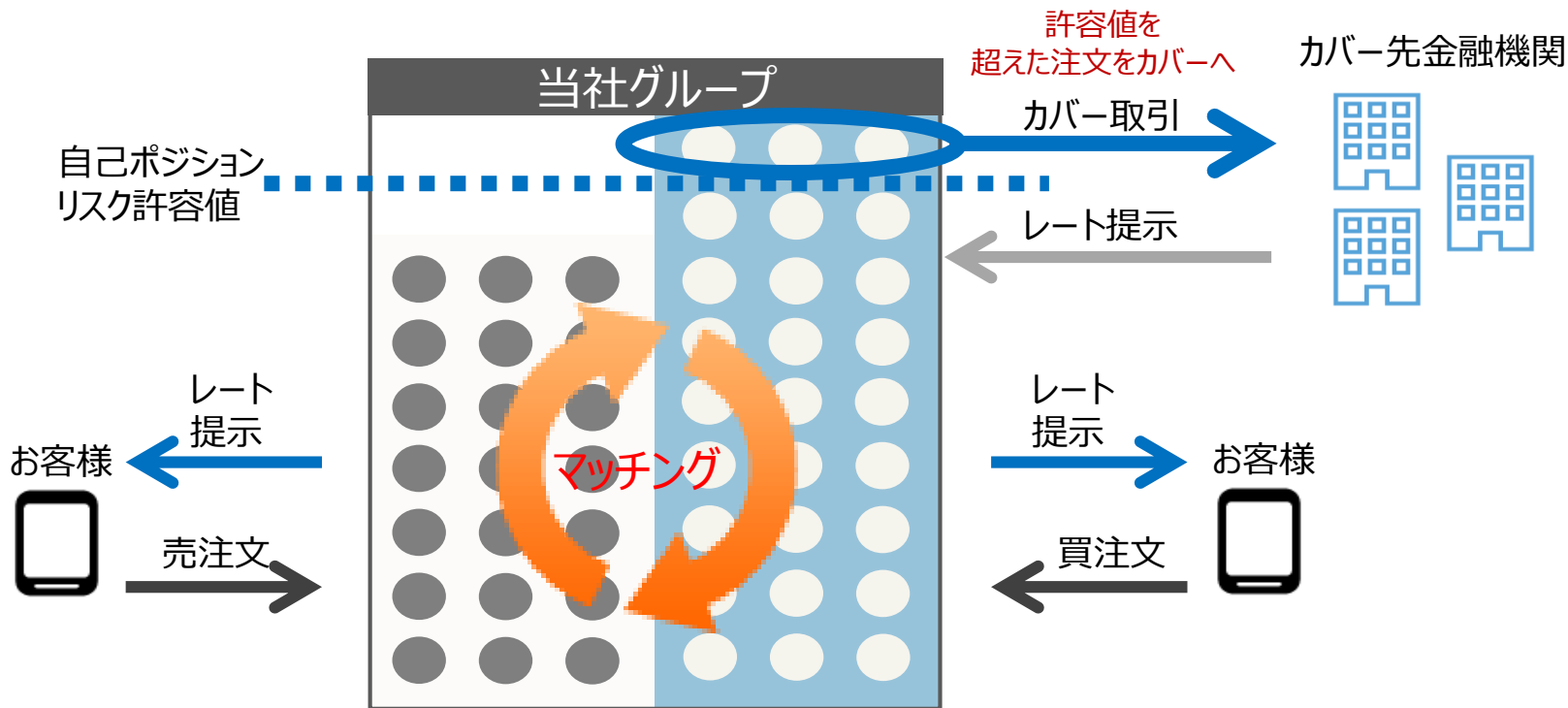


# (参考) 主要ネット証券手数料比較

現物 1約定ごと プラン	GMOクリック 証券	SBI証券 (スタンダード プラン)	楽天証券 (ワンショット コース)	カブドットコム 証券 (インターネット)	マネックス 証券 (PC)	松井証券
10万円	88円	139円	139円	90円	100円	1約定ごと プランなし
20万円	98円	185円	185円	180円	180円	
50万円	241円	272円	341円	250円	450円	
100万円	436円	487円	609円	990円	(成行) 1,000円 (指値) 1,500円	
150万円	528円	582円	728円	1,440円	(成行注文) 約定金額の0.1% (指値注文) 約定金額の0.15%	
3,000万円	834円	921円	1,152円	3,690円		
3,000万円超	889円	973円	1,217円	3,690円		

出所：各社ホームページより当社作成（2016年8月31日現在）  
※各社手数料は税抜表示

## 効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

# FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化

他社



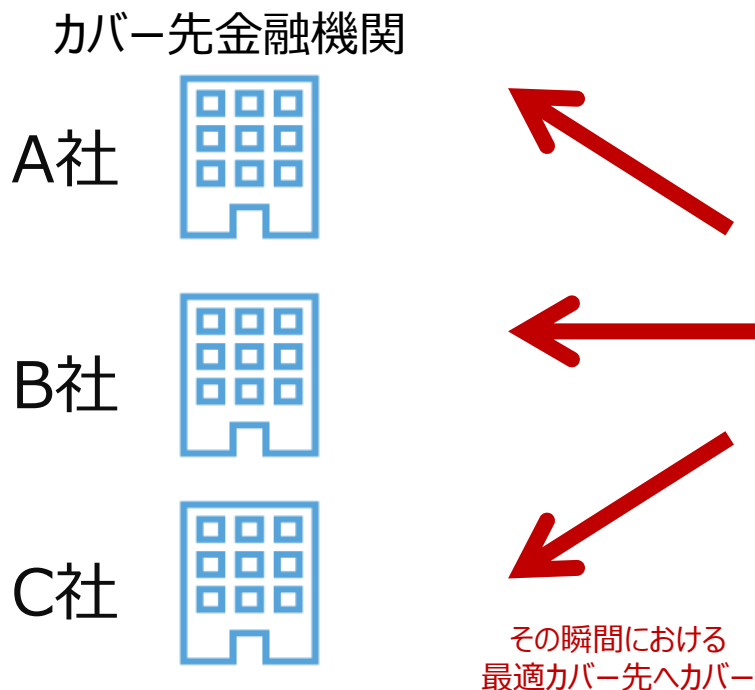
ディーラーによるトレード

当社グループ



システムによる自動化

## 細かなチューニングによりカバー取引を最適化



(上記は概念図)

# ボラティリティと収益の関係

収益  
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバー取引}$$
$$\left( \text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量} \right) - \left( \text{カバースプレッド} \times \text{カバー数量} \right)$$

取引量

カバーコスト

ボラの上昇

増加

増加

ボラの低下

減少

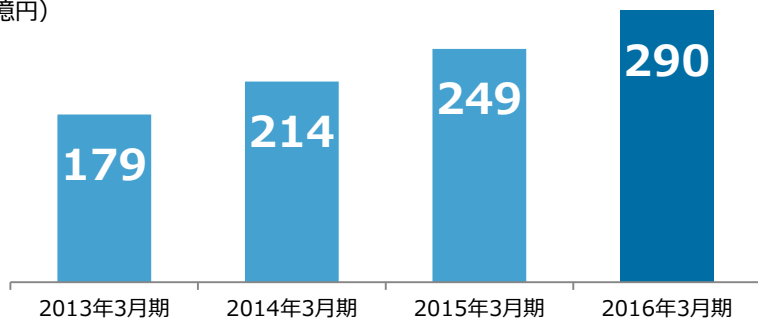
減少

(上記は概念図)

収益・利益ともに順調に成長。2016年3月期は過去最高業績

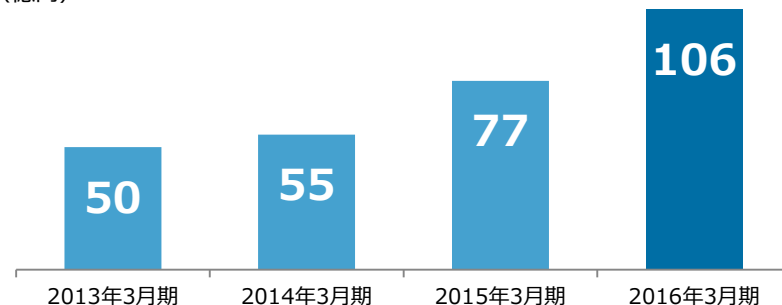
## 営業収益

(億円)



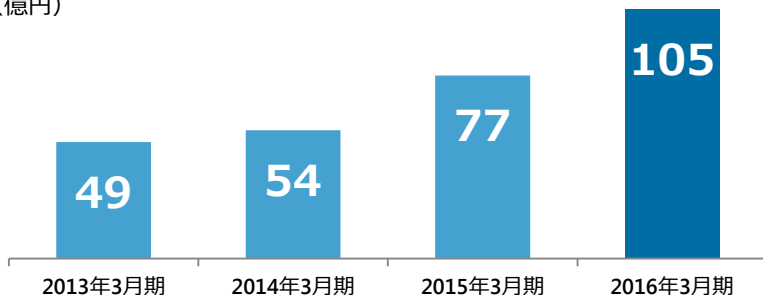
## 営業利益

(億円)



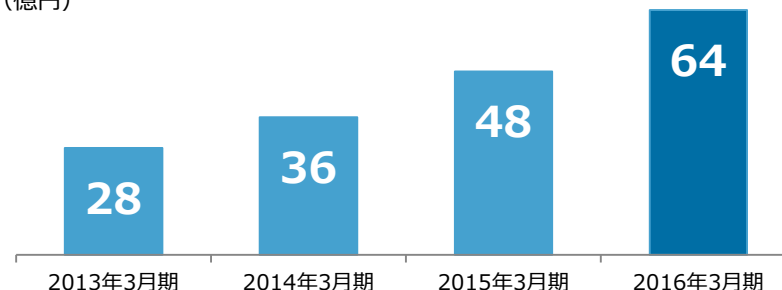
## 経常利益

(億円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



# 最新決算サマリー

営業収益は四半期ベースで過去最高を記録した前期1Qと同水準、  
各利益は四半期ベースで過去最高を更新

(億円)	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	78.3	<b>78.0</b>	▲ 0.3	▲ 0.4%
純営業収益	73.5	<b>74.9</b>	+ 1.4	+ 1.9%
営業利益	30.8	<b>33.7</b>	+ 2.8	+ 9.3%
経常利益	30.9	<b>33.2</b>	+ 2.3	+ 7.6%
最終利益	18.2	<b>22.7</b>	+ 4.5	+ 24.8%



## 方針

### 強いものをより強くする

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化  
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

#### 国内 事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

#### 海外 事業

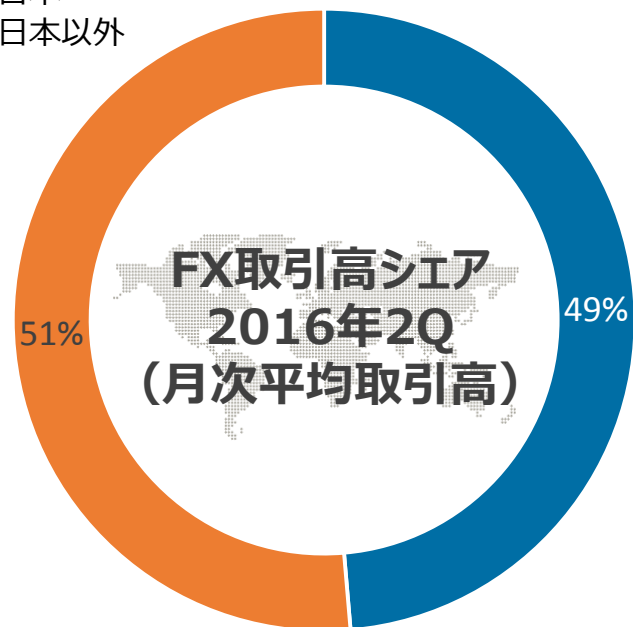
- 海外事業の黒字定着し攻めの体制

#### 新規 事業

- 新たな金融商品・事業の展開

## 日本の個人投資家によるFX取引は世界の約半数を占める

- 日本
- 日本以外



### 日本におけるFX発展の背景

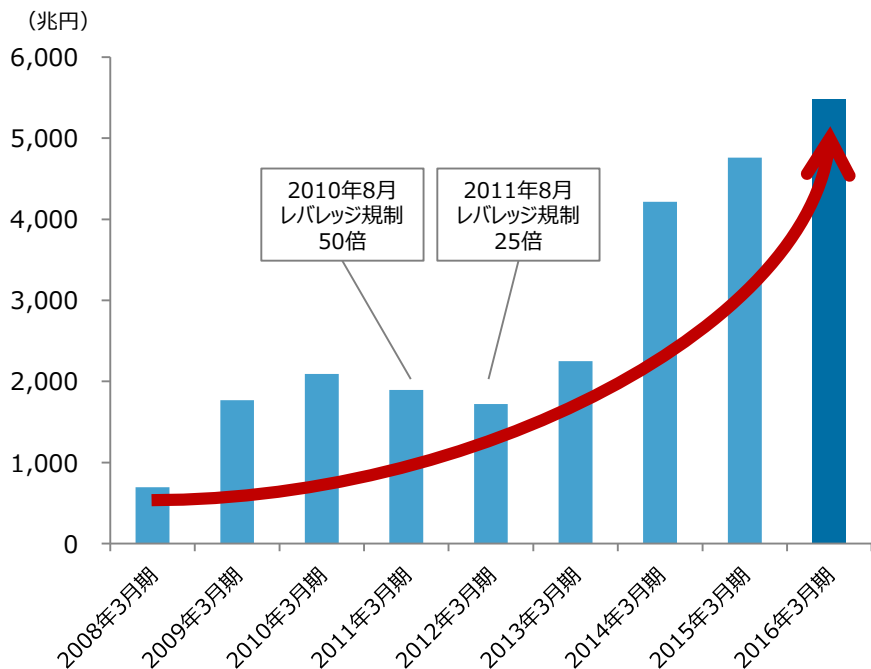
株式投資と比較し、投資対象の選定が容易

少ない資金でレバレッジを効かせた取引が可能

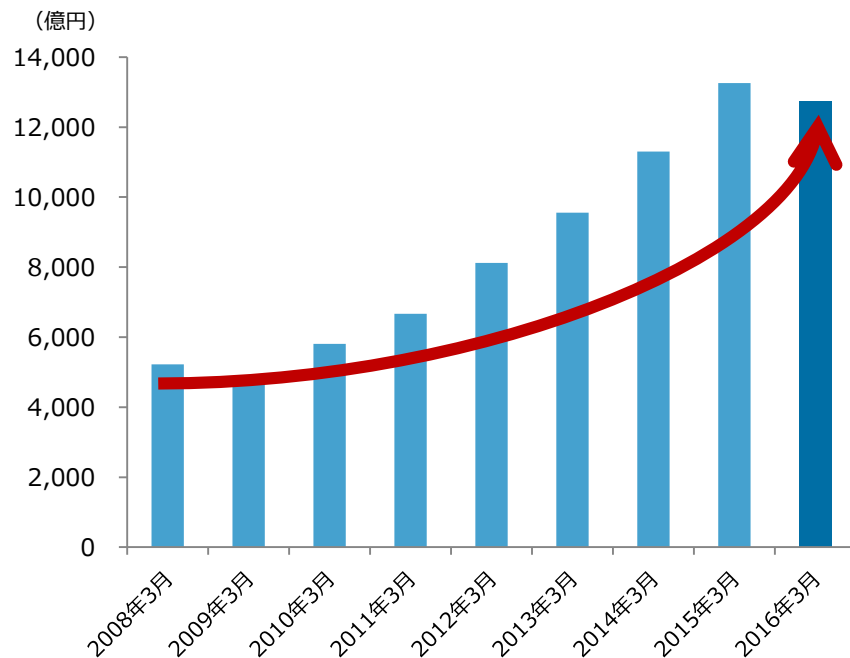
24時間取引可能で、投資機会が多い

## 国内店頭FXは成長市場。今後もこの成長は続くものと見ている

### 店頭FX取引高

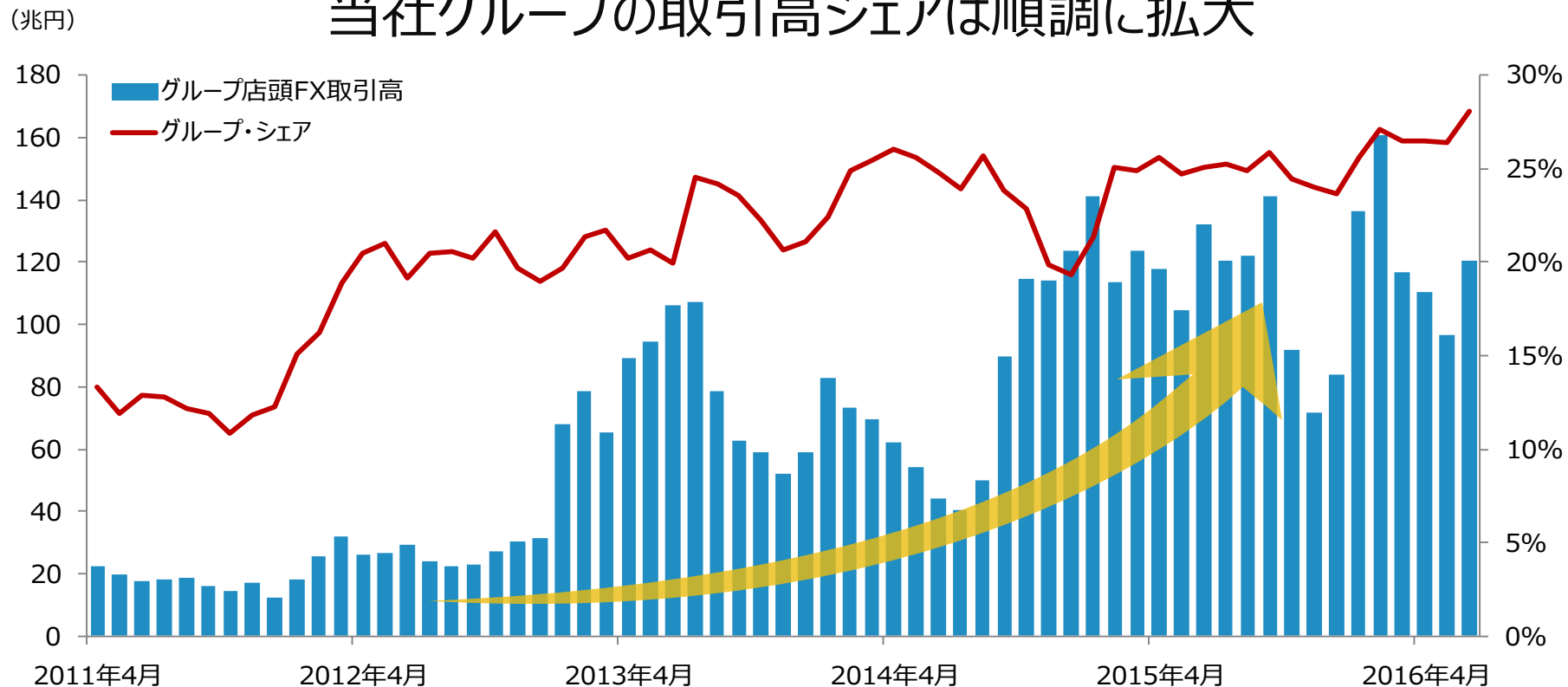


### 店頭FX預り証拠金残高



出所：金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

## 当社グループの取引高シェアは順調に拡大

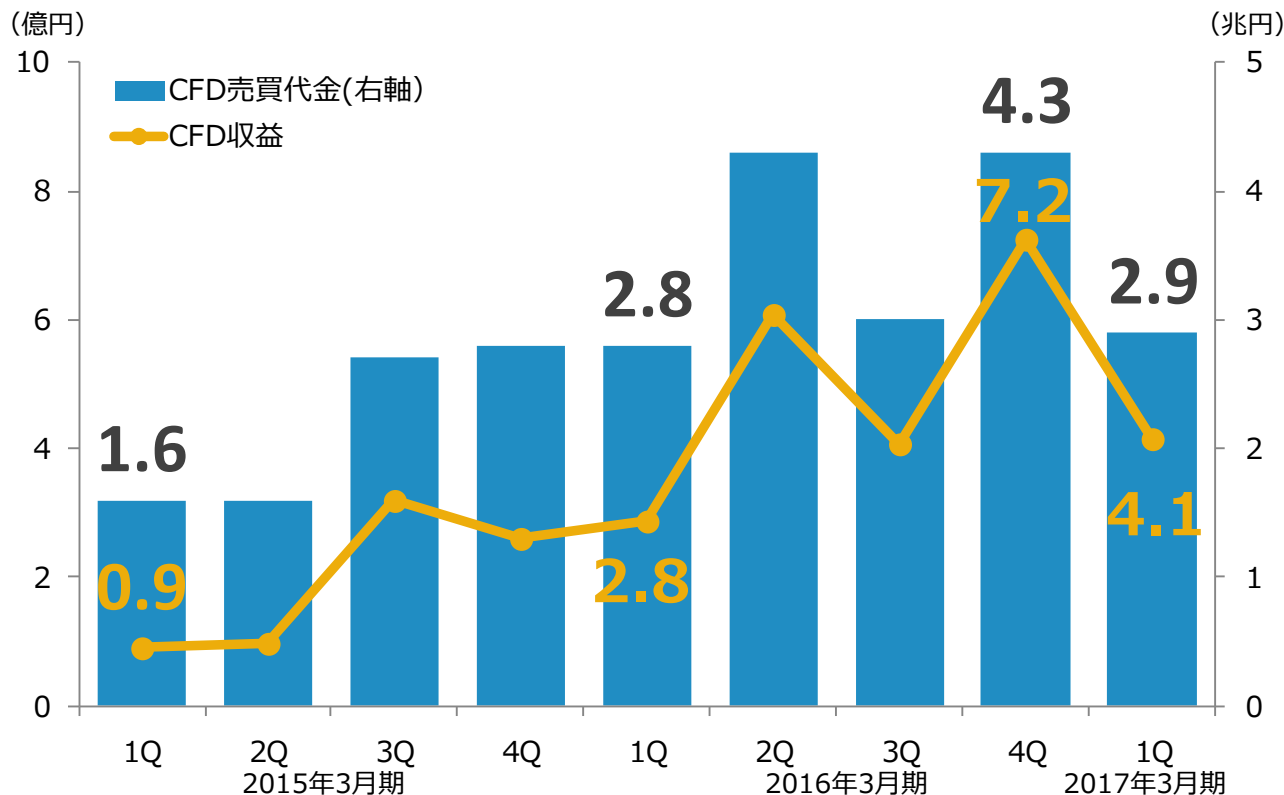


出所：当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値（グループ会社からのカバー取引含む）。2015年3月以降は、GOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値

※グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出（円転換レートは当社グループ各社とは異なるためシェアは概算）

## CFD収益は着実に伸長。新たな収益の柱へと育ちつつある



CFD収益  
取引量増減により  
YoY増加  
QoQ減少

今後、ネット証券業界におけるポジションを上げ、収益拡大を図る

成長中のFX・CFD収益を証券事業に投資  
(FX・CFD等収益は年間215億円\*)

安さ

GMOクリック証券

大規模  
プロモーションで  
安さを伝える

使いやすさ

あおぞら銀行  
グループ

× GMOインターネット  
グループ

銀証連携で  
サービスを  
もっと使いやすく

投 信

貸 株

・・・

商品・サービス  
ラインナップを  
充実させる

業界ポジション  
収益規模



マイナンバーカード普及も  
追い風になると見込む

※2016年3月期のトレーディング損益

基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向

**50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 3月期	<b>9.70</b> 円	—	—	—	—
2016年 3月期	<b>6.38</b> 円	<b>5.60</b> 円	<b>5.34</b> 円	<b>5.00</b> 円	<b>22.32</b> 円

## 優待の内容

**GMOクリック証券** における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOクリックHD株式買付手数料相当額キャッシュバック

## 優待基準日

2016年6月末日、2016年12月末日

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。  
<https://www.gmo-click.com/ir/stock/benefit.html>



- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は4年間ずっとと世界No.1
- 株式は大手ネット証券の一角。今後さらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

# Appendix

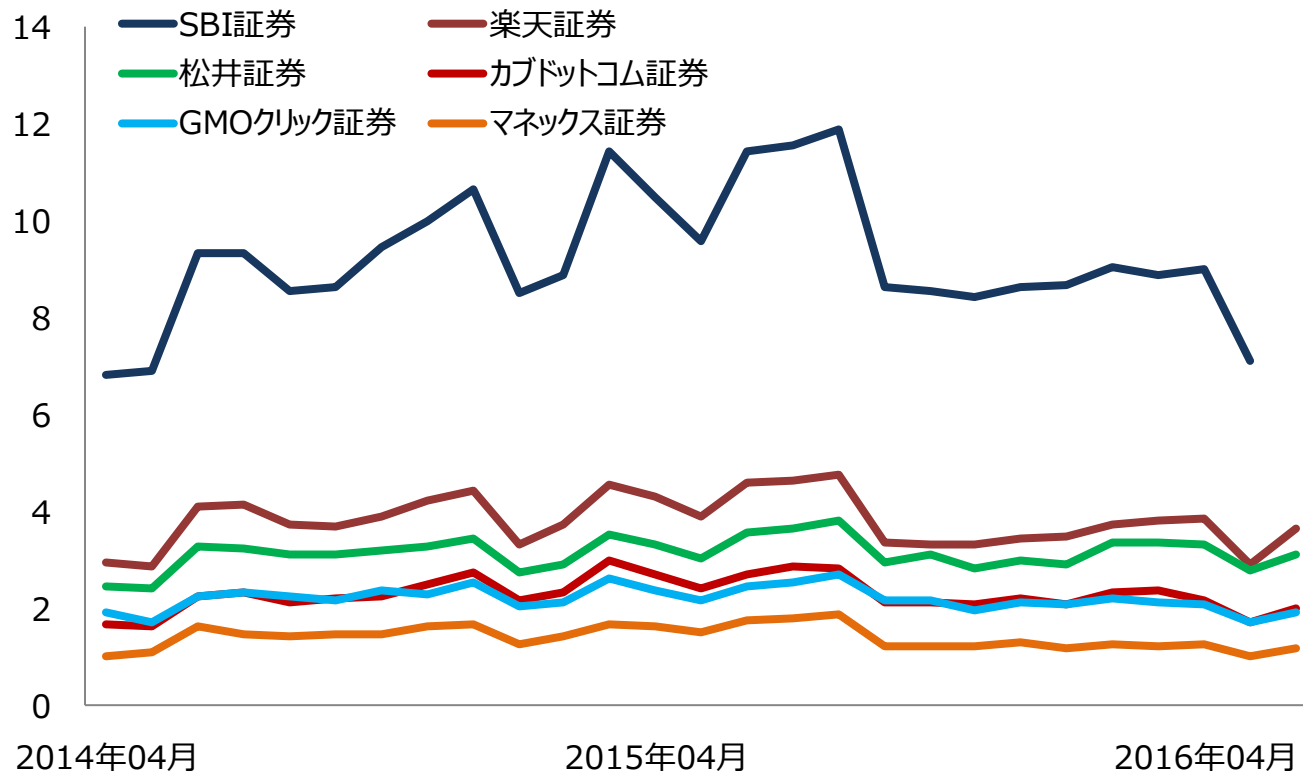
# 会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに 附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	393百万円 (2016年6月末日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライムbyGMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国)
連結従業員数	234名 (2016年6月末日現在)

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	4月1日～翌3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL：0120-232-711（東京） / 0120-094-777（大阪） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
公告方法	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
	電子公告 公告URL <a href="https://www.gmo-click.com/">https://www.gmo-click.com/</a> ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

# 主要ネット証券比較 | 株式売買代金

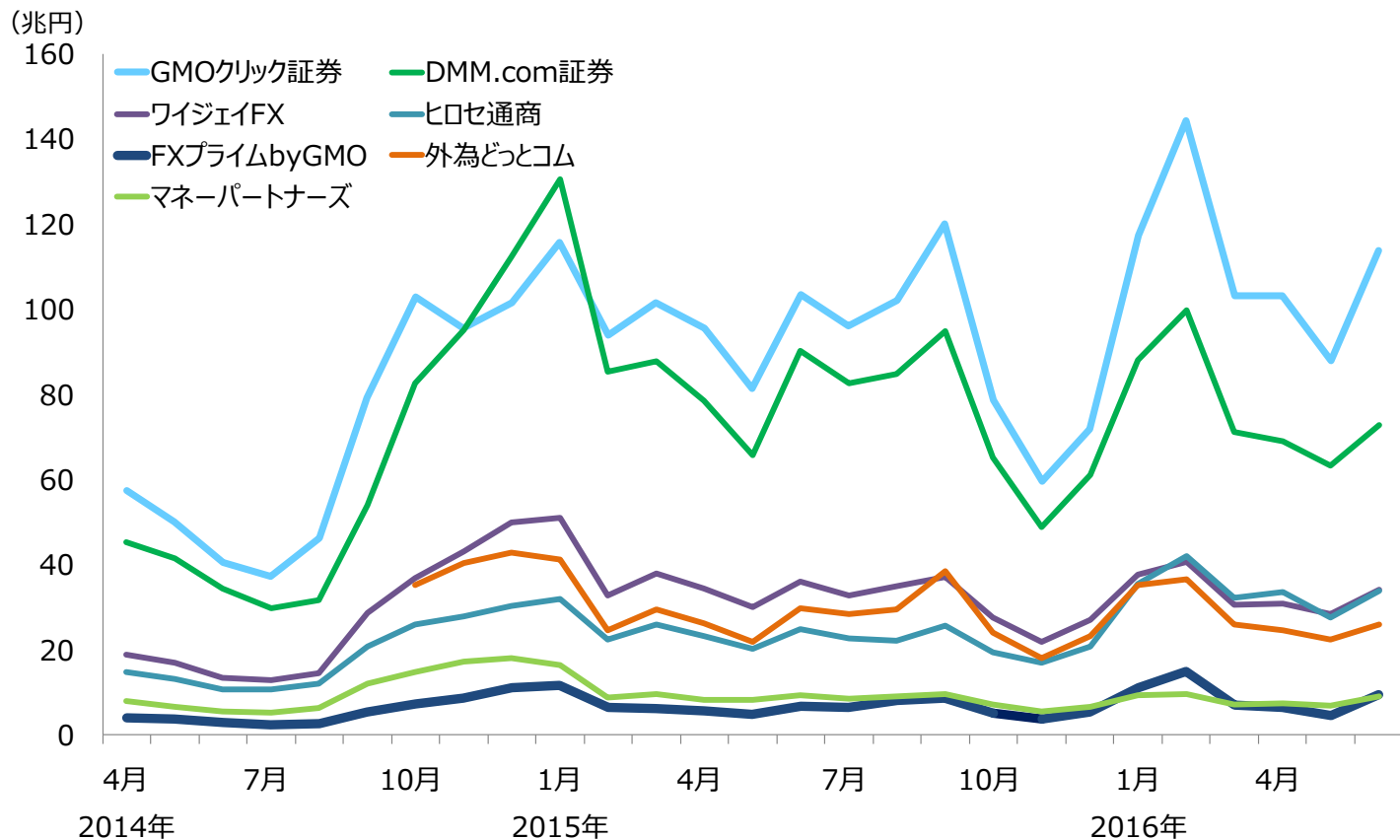
(兆円)



株式売買代金  
4~5位で推移

出所：各社公表資料より当社作成  
※SBI証券は2016年6月の数値は非開示

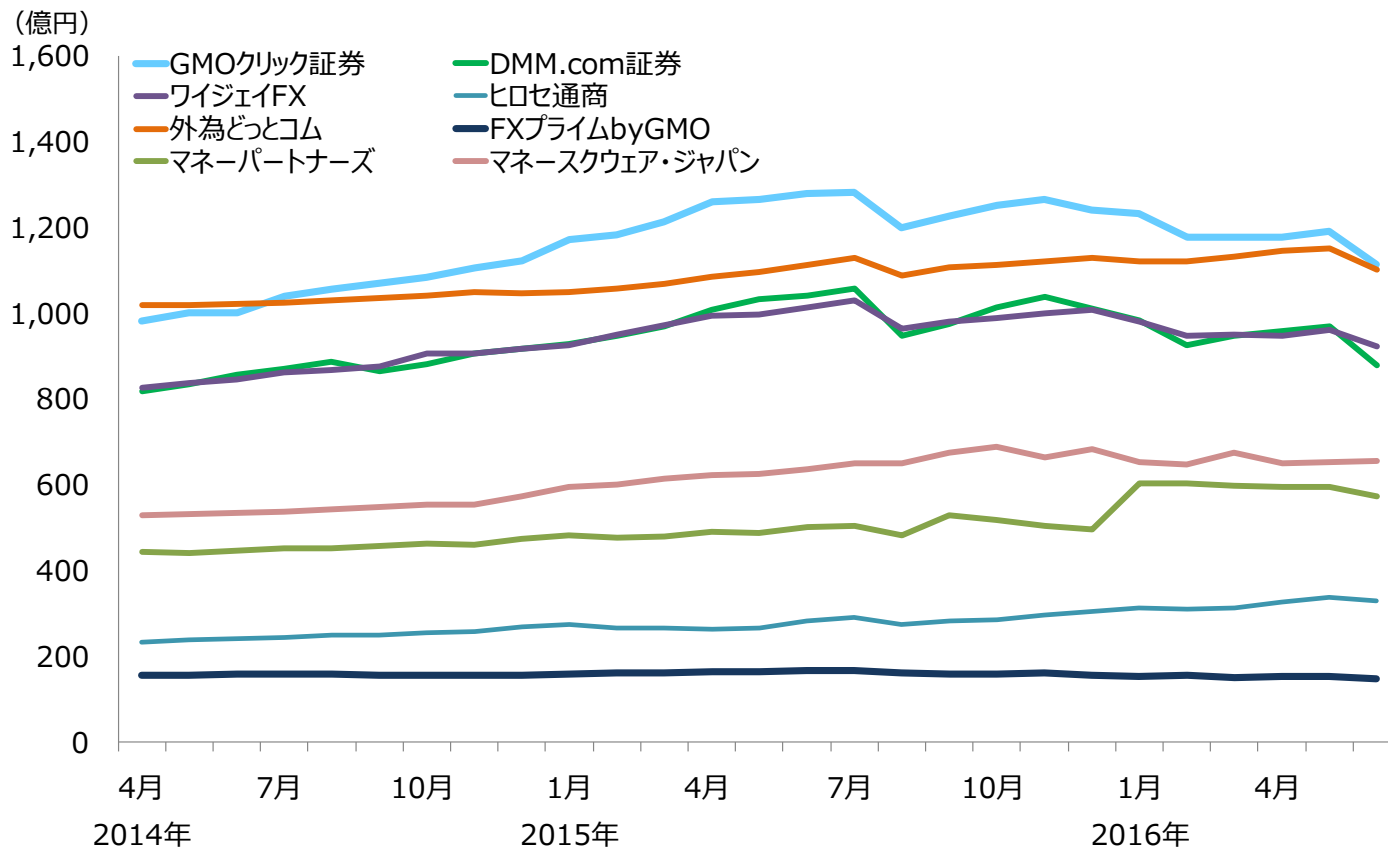
# 国内FX会社比較 | 取引高



FX取引高  
第**1**位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成  
※百万通貨は1億円として換算

# 国内FX会社比較 | 預り証拠金残高

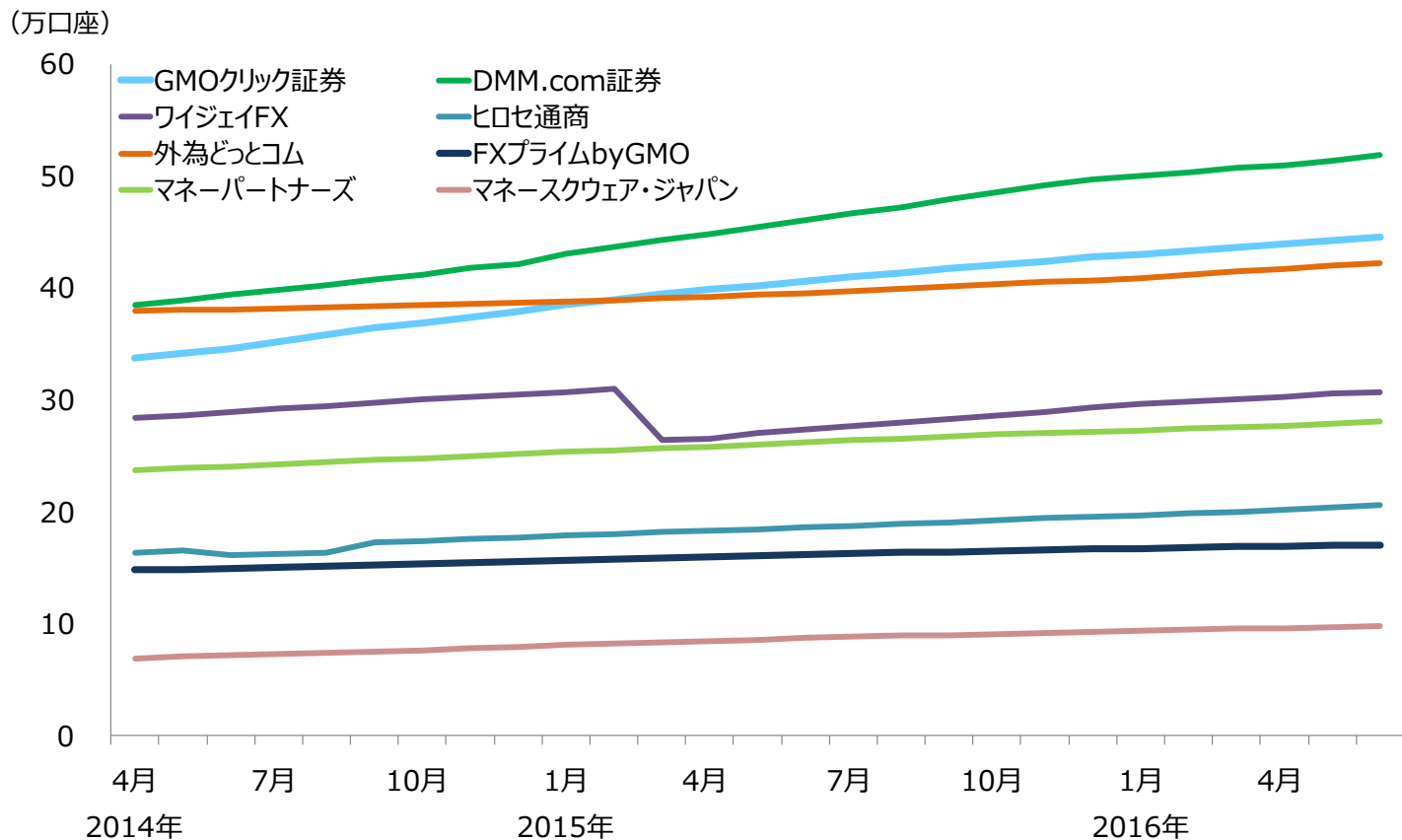


預り証拠金  
残高  
第**1**位

2016年6月は  
Brexitの影響で  
預り証拠金残高は減少も  
2016年7月は増加

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成

# 国内FX会社比較 | 口座数



口座数  
**61.5万**  
口座

2016年6月末  
グループ合計口座数

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成



## 免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。